

令和5年度

# 川崎市健康安全研究所年報

第11号

(通巻第59号)



KAWASAKI CITY

川崎市健康安全研究所

(発行：令和6年度)



はじめに

川崎市健康安全研究所は、全国に 84 か所(令和 6(2024)年 4 月現在)設置されている地方衛生研究所の一つです。川崎市における地方衛生研究所の歴史は古く、昭和 27(1952)年に「川崎市衛生試験所」として川崎市中央保健所の一角に設置されました。昭和 45(1970)年に川崎区大島町に業務の場を移して「川崎市衛生研究所」となった後、平成 25(2013)年に現在のキングスカイフロント(Kawasaki INovation Gateway at SKYFRONT)地区に移転し、名称も「川崎市健康安全研究所」と改め、現在に至ります。

地方衛生研究所は、昭和 23(1948)年の地方自治法改正に伴って「地方衛生研究所設置要綱」が策定されたことを機に全国に設置され、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報の解析・提供の業務を通じて、公衆衛生の向上のために重要な役割を果たしてきました。その後、平成 6(1994)年に地域保健の体系が抜本的に見直されることになり、同年に厚生労働省から示された「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づいて、平成 9(1997)年に厚生省事務次官通知「地方衛生研究所の機能強化について」が発出されました。これにより、地方衛生研究所は「地域における科学的かつ技術的に中核となる機関」として再編成することが示されたのですが、いずれの時期の設置要綱にも地方衛生研究所を法的に位置付ける記載はなく、行政機関でありながら法の裏付けがないという矛盾を抱えていました。

大きな転機を迎えたのは、令和 2(2020)年に世界的な流行を引き起こした新型コロナウイルス感染症の発生でした。特に、流行初期に国内での PCR 検査を全て引き受けたのは地方衛生研究所であり、ここから一気に世間の注目を集めることになりました。もちろん検査だけではなく、川崎市健康安全研究所では発生動向にも注視し、新型コロナウイルス感染症以外の疾患を含めて広く情報発信を行ってきました。令和 4(2022)年に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」等の一部が改正され、これに伴って改正された「地域保健法」が令和 5(2023)年 4 月から施行されることになりました。ここには、保健所を設置する地方公共団体は、「法律に基づく調査及び研究並びに試験及び検査」を実施し「専門的な知識及び技術を必要とする業務」を行い「地方衛生研究所等の体制」を整備するように定められています。これを機に、地方衛生研究所の業務は全て法に基づく業務となり、川崎市健康安全研究所も法的根拠をもって日々の仕事に従事していると胸を張って言えるようになりました。

月日の流れるのは早いもので、川崎市健康安全研究所がキングスカイフロント地区に移転してから今年で早や 11 年が経ちました。私たちの施設は、検査を担当する微生物部門及び理化学部門、感染症情報を担当する感染症情報センター、精度管理や対外的な交渉、研究のサポート等を担当する企画調整、そして所内全ての事務的作業を担う総務で成り立っています。

私たちは、試験検査、調査研究、研修指導、情報発信を業務の 4 つの柱として、サーベイランスの強化、リスクコミュニケーションを含めた機能強化を図りつつ、市民の健康を守るために働いてい

ます。これらの業務を全うするためには、市民の方々のご理解やご支援、そして川崎市の関係各部署、地方衛生研究所をはじめとした他の研究機関、キングスカイフロント地区の皆様との連携が欠かせません。皆様との関係を大切にしつつ、これからも広く公衆衛生の向上のために力を尽くしていきたいと思っております。

川崎市健康安全研究所 所長 三崎 貴子

## 歴代所長

福田 諄	昭和	45年	6月	～	昭和	49年	3月
杉原 正造(所長事務取扱)	昭和	50年	4月	～	昭和	50年	7月
本庄 茂敏	昭和	50年	8月	～	昭和	51年	10月
依田 源次(所長事務取扱)	昭和	51年	10月	～	昭和	52年	3月
長田 信	昭和	52年	4月	～	昭和	57年	1月
中村 武雄	昭和	57年	2月	～	昭和	61年	3月
和田 明	昭和	61年	4月	～	平成	2年	3月
吉澤 秀明	平成	2年	4月	～	平成	5年	3月
原田 忠彦	平成	5年	4月	～	平成	6年	3月
大村 敏郎	平成	6年	4月	～	平成	9年	3月
安藤 正義	平成	9年	4月	～	平成	11年	3月
佐藤 欣弥	平成	11年	4月	～	平成	13年	3月
黒澤 登	平成	13年	4月	～	平成	17年	3月
小川 正之	平成	17年	4月	～	平成	20年	3月
丸田 茂貴	平成	20年	4月	～	平成	22年	3月
妙摩 博	平成	22年	4月	～	平成	24年	3月
岡部 信彦	平成	24年	4月	～	令和	6年	3月
三崎 貴子	令和	6年	4月	～			

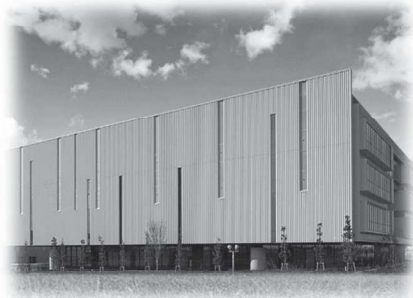
### 川崎市衛生研究所

(昭和45年6月 川崎市衛生試験所から名称変更・移転)



### 川崎市健康安全研究所

(平成25年3月 川崎市衛生研究所から名称変更・移転)



# 目次

## 第1章 概要

1 沿革 .....	1
2 施設概要 .....	2
(1) 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)施設概要 .....	2
(2) 川崎市健康安全研究所の移転開設について .....	2
(3) 健康安全研究所施設概要 .....	3
3 組織 .....	4
(1) 組織と業務 .....	4
(2) 事務分掌 .....	5
(3) 人員配置 .....	5
4 予算及び決算 .....	6
5 学会参加並びに視察対応等の実績 .....	7
(1) 学会・研究会等出席実績 .....	7
(2) 講習会・研修会等受講実績 .....	9
(3) 会議等出席実績 .....	12
(4) 講師派遣実績 .....	19
(5) 研修指導実績 .....	21
(6) 視察・見学受け入れ実績 .....	23
(7) 研修報告会開催実績 .....	24
(8) 「キングスカイフロント夏の科学イベント2023」への出展 .....	25

## 第2章 業務実績

1 企画調整部門 .....	26
(1) 企画調整担当 .....	26
(2) 感染症情報センター担当 .....	28
2 理化学部門 .....	33
(1) 食品担当 .....	33
(2) 水質・環境担当 .....	36
(3) 残留農薬・放射能担当 .....	40
3 微生物部門 .....	54
(1) 消化器・食品細菌担当 .....	54
(2) 呼吸器・環境細菌担当 .....	59
(3) ウイルス・衛生動物担当 .....	61

### 第3章 試験検査

1 月別検査件数 .....	67
2 依頼別・項目別検査件数 .....	70
3 食品別検査項目内訳 .....	75
(1) 食品別検査項目内訳(理化学検査) .....	75
(2) 食品別検査項目内訳(食品細菌検査) .....	76
4 水質別検査項目内訳 .....	77

### 第4章 調査研究

1 令和5年度調査研究課題一覧 .....	78
2 調査研究報告等実績一覧 .....	80
(1) 令和5年度学会発表実績(口演発表) .....	80
(2) 令和5年度学会発表実績(示説発表) .....	81
(3) 令和5年度学会発表実績(誌上発表) .....	81
(4) 令和5年度論文掲載実績 .....	82
(5) 令和5年度行政報告等実績 .....	83
(6) 令和5年度その他執筆実績 .....	84
(7) 令和5年度表彰等受賞実績 .....	84
3 調査研究報告 .....	85

### 第5章 職員に関する事項

1 人事記録 .....	92
2 職員名簿 .....	93



## 【第1章 概要】

### 1 沿革

年月	事項
昭和27.1	川崎市条例第2号(昭和27年1月9日)により公衆衛生の向上及び増進に寄与するため川崎市立衛生試験所が設置される。庁舎は川崎市砂子1丁目7番地 川崎市中央保健所2階の一部を使用
昭和27.2	川崎市事務分掌条例(昭和22年川崎市条例第16号)に基づく事務分掌規則により「庶務係」及び「試験係」が設置される。
昭和36.7	市内に4か所の原子炉関係施設が設置され、市民からの強い要望に応じて、川崎市立川崎病院構内に放射能測定室を設置し、業務を開始
昭和36.10	川崎市事務分掌規則の改正により試験係が廃止され、新たに、試験第1係、試験第2係が設置される。
昭和37.9	川崎市中央保健所庁舎が改築され、同時に同庁舎4階に移転する。
昭和40.4	試験第1係、試験第2係が廃止され、新たに、微生物係、臨床検査係、理化学環境検査係が設置される。
昭和42.7	川崎市事務分掌規則の改正により理化学環境検査係が廃止され、新たに、食品化学係、環境検査係が設置される。
昭和44.4	川崎市立川崎病院構内に設置の放射能測定室を閉鎖し、環境検査係内に移す。
昭和44.9	川崎市大島5丁目5番地2(元川崎市交通局トロリーバス車庫跡地)に庁舎新築起工する。
昭和45.5	新庁舎竣工する。
昭和45.6	川崎市条例第2号が改正され、川崎市衛生研究所条例(昭和45年3月31日条例第14号)が新たに施行される。(名称変更と設置場所の変更) 川崎市事務分掌規則の改正により課制を施行、2課7係が設置される。 微生物課(①庶務係、②細菌検査係、③臨床検査係、④ウイルス検査係) 理化学課(①食品検査係、②水質検査係、③環境検査係)
昭和45.6	川崎市衛生研究所新庁舎の開庁式が挙行される。
昭和46.3	川崎市衛生研究所条例の一部を改正する条例が公布される。(昭和46年3月23日条例第6号)
昭和46.8	川崎市衛生研究所放射線障害予防規程(昭和46年7月29日訓令第14号)が施行される。
昭和46.10	川崎市事務分掌規則の改正(昭和46年10月15日規則第71号)により、1室、2課6係となる。同時に川崎市役所機構改革により公害局公害研究所が新設され、庁舎共同使用となる。
昭和47.4	川崎市が指定都市に指定される。(地方自治法第252条の19第1項)
昭和48.12	公害研究所が新庁舎建設に伴い移転する。
昭和50.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(昭和50年4月1日条例第6号) 川崎市衛生研究所条例施行規則が全面改正施行される。(昭和50年4月1日規則第21号)
昭和50.7	4階に実験室を増築する。
昭和61.10	川崎市事務分掌規則等の一部改正により、課、係制を廃止し、主幹・主査制を導入する。
平成元.3	1階に安全実験室を設置する。
平成3.3	電子顕微鏡室を設置する。
平成4.3	3階に有機溶媒排気装置を設置する。
平成4.4	川崎市事務分掌規則等の一部改正により、事務分掌の内容を変更する。
平成4.5	主査(衛生動物検査担当)及び主査(残留農薬検査担当)を増設する。
平成6.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成6年3月30日条例第13号)
平成6.7	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成6年3月30日条例第6号) 手数料(第7条関係別表)を大幅に改定する。
平成9.5	神奈川県から医薬品検査業務が本市に移管されたことに伴い、4階に医薬品検査施設を増設する。
平成10.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成10年3月24日条例第4号) 医薬品検査手数料を新設する。
平成12.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成12年3月24日条例第12号) 手数料(第7条関係別表)を一部改定する。
平成16.2	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成15年12月25日条例第48号)
平成16.3	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成16年3月24日条例第8号)
平成18.3	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成18年3月31日条例第34号)
平成20.3	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成20年3月25日条例第20号)

年月	事項
平成21.4	組織再編により第2類事業所となる。 衛生動物検査部門をウイルス検査部門に統合する。
平成24.4	組織再編により第1類事業所となる。 副所長及び企画調整担当を設置する。 環境検査部門を水質検査部門に統合する。
平成25.2	川崎区殿町3丁目25番13号川崎生命科学・環境研究センター2階に移転する。
平成25.3	平成24年10月10日条例第42号により、川崎市衛生研究所条例が川崎市衛生試験検査手数料条例として一部改正施行される。(名称等の変更) 組織改正により衛生研究所を再編し、健康安全研究所を設置する。 感染症情報センターを健康安全研究所内に設置する。
平成25.4	平成24年10月10日条例第42号により、川崎市衛生研究所条例が川崎市衛生試験検査手数料条例として一部施行される。(手数料の改訂) 企画調整担当課長を設置する。
令和5.4	令和4年10月21日条例第57号により、川崎市衛生試験検査手数料条例が一部改正施行される。(手数料の改訂)

## 2 施設概要

### (1) 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 施設概要

川崎生命科学・環境研究センター (LiSE; Life Science and Environment research center) は、市の研究施設である「川崎市健康安全研究所」及び「川崎市環境総合研究所」に加え、民間の研究施設が入居した施設であり、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントにおける、ライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点として建設された。

土地は川崎市、建物は大成建設株式会社が保有し、施設維持管理は大成有楽不動産株式会社が実施するPP (Public Private Partnership) 方式が採用されている。

環境に配慮した設計とされており、太陽熱や空気熱を利用した給湯システム、太陽光パネルを用いた電力供給、外壁へのダブルウォール (二重壁) 使用による断熱性、メンテナンス性向上等の様々な環境対策が施されている。

表1 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 建物概要

所在地	〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-13
敷地面積	6,999.93㎡
建築面積	3,110.63㎡
延床面積	11,406.09㎡ (うち健康安全研究所使用部分2329.38㎡)
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
規模	地上4階、塔屋1階 (うち健康安全研究所として2階フロアを使用)
竣工年月	2012年12月
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所
施工	大成建設株式会社横浜支店
建物所有	大成建設株式会社
建物維持管理	大成有楽不動産株式会社
主な施設	1F カフェ、防災センター、会議室、書庫、セミナー室等 2F 川崎市健康安全研究所 3F 川崎市環境総合研究所 4F 民間ラボ

### (2) 川崎市健康安全研究所の移転開設について

本研究所は平成25年3月、川崎区大島5丁目から、川崎区殿町3丁目の川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 2階に移転開設し、名称が「川崎市衛生研究所」から「川崎市健康安全研究所」に変更された。

移転時には、企画調整担当の新設に加え、感染症情報の収集・解析・発信を行う感染症情報センター機能を

健康福祉局健康安全室（現在の健康福祉局保健所）から移管するなど、移転開設に併せて研究所機能の強化が図られた。

研究所の役割は、川崎市の衛生行政を支える科学的・技術的中核機関として、試験検査、調査研究、情報発信、研修指導の4本柱を基盤とし、市民の健康で安全な暮らしを支えることを目的としているほか、国立医薬品食品衛生研究所をはじめとする殿町地区内外の研究機関との共同研究にも力を注いでいる。

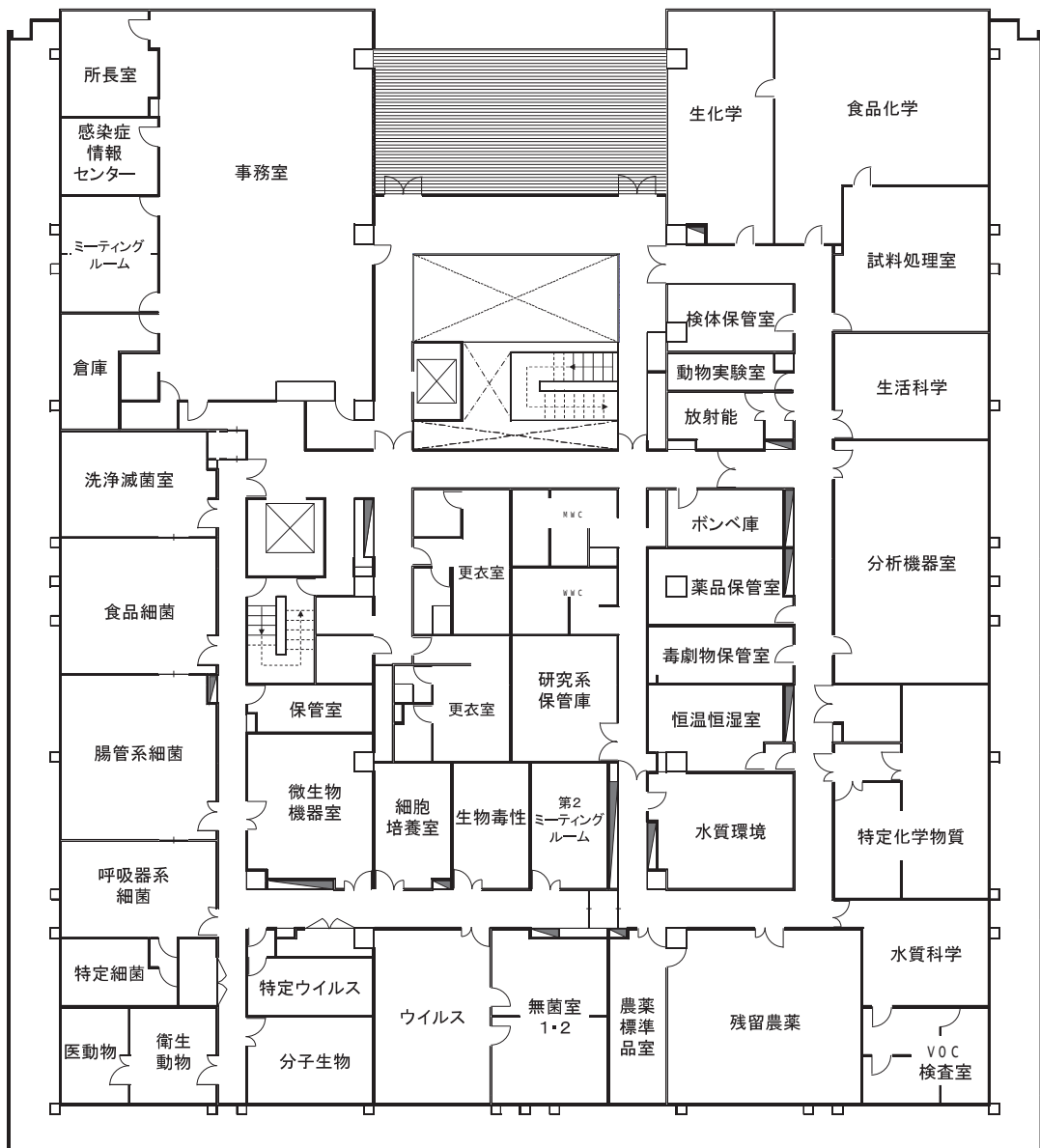
### (3) 健康安全研究所施設概要

研究所施設は川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）の2階フロア全体を占め、理化学エリア、微生物エリアの他、事務室及び感染症情報センターの4エリアで構成されている。

旧施設の衛生研究所では、事務担当以外の職員の事務机はそれぞれの検査室に配置されていたが、健康安全研究所では全ての職員について、事務室に事務机を配置し、情報の共有化が図りやすい環境となった。

また、それぞれのエリアではICカードによる入室管理が行われている。特に理化学エリア及び微生物エリアは2次セキュリティのフロアとなっており、また入室の権限についても個人ごとに別々に付与されているため、たとえ職員であっても不要な諸室には入室できないようになっている。

図1 健康安全研究所図面（川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）2階）



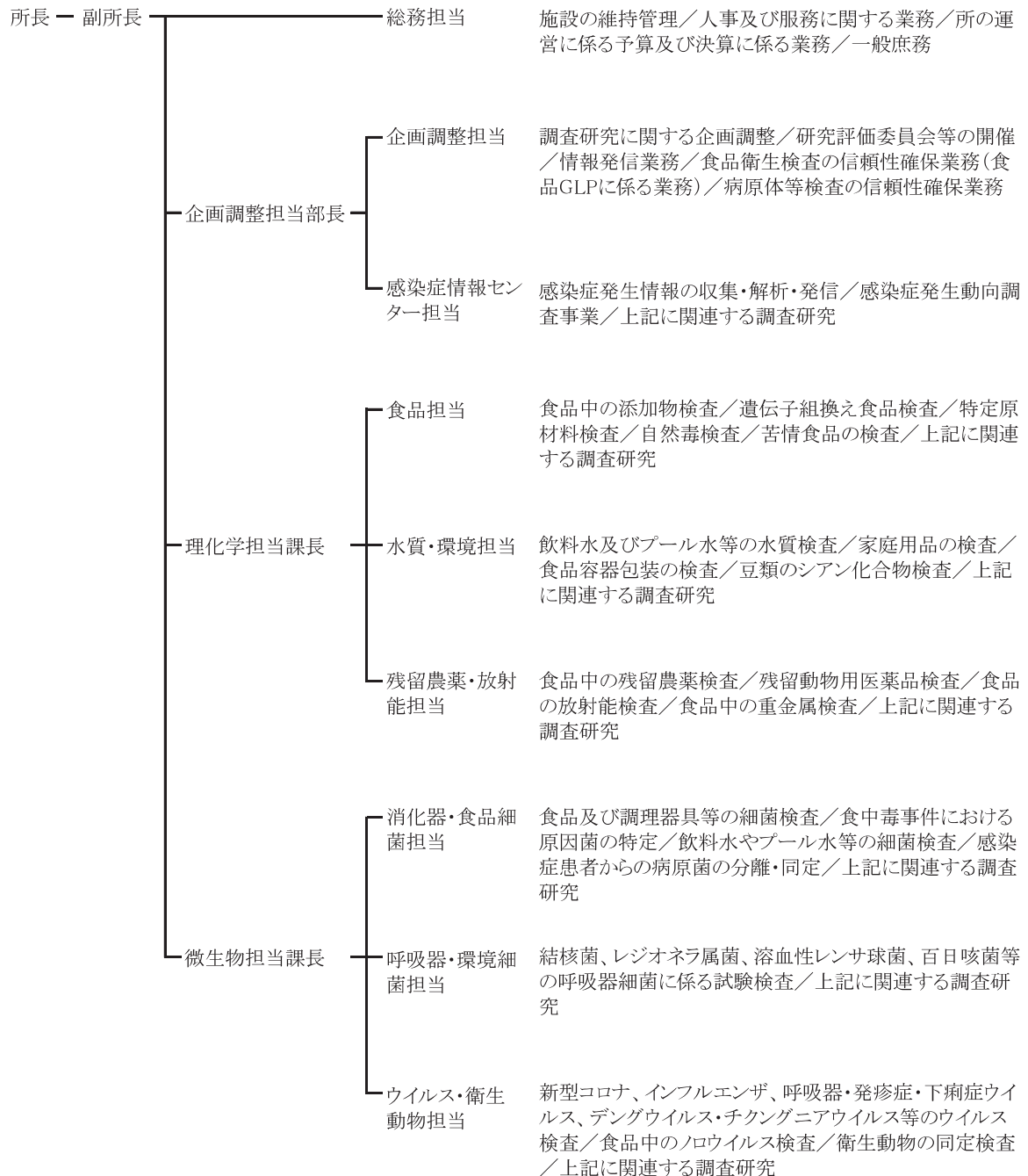
### 3 組織

#### (1) 組織と業務

本研究所の組織は、所長のもとに9担当で構成されている。

組織体制と各担当の主な業務を図2に示す。

図2 組織図



(2) 事務分掌

川崎市事業所事務分掌規則(昭和 51 年 4 月 30 日規則第 39 号)第 3 条の事務分掌は、次のとおりとする。

健康安全研究所

- ア 所の維持管理に関すること。
- イ 試験検査の企画、調査及び統計に関すること。
- ウ 公衆衛生従事者の研修に関すること。
- エ 感染症情報センターに関すること。
- オ 微生物学的試験検査及び調査研究に関すること。
- カ 衛生動物の試験検査及び調査研究に関すること。
- キ 理化学的試験検査及び調査研究に関すること。
- ク その他公衆衛生上必要な試験検査及び調査研究に関すること。

(3) 人員配置

令和 5 年 4 月 1 日現在の人員配置を表 2 に示す。

表2 人員配置

		職種						総数
		医師	一般事務	獣医師	薬剤師	臨床検査技師	化学	
所長		1						1
副所長				1				1
総務			4					4
企画調整	担当部長	1						1
	企画調整			1	1			2
	感染症情報センター			1	2			3
理化学	担当課長			1				1
	食品			1	3		1	5
	水質・環境				2		3	5
	残留農薬・放射能				1	2	1	4
微生物	担当課長				1			1
	消化器・食品細菌			1	2	2		5
	呼吸器・環境細菌				1	2		3
	ウイルス・衛生動物			2	2	2		6
合計		2	4	8	15	8	5	42

#### 4 予算及び決算

令和5年度の歳入及び歳出をそれぞれ表3及び表4に示す。

表3 歳入

単位:円

款項目	節	予算額	決算額
使用料及び手数料			
手数料			
健康福祉手数料	保健衛生施設手数料	477,295,000	76,969,140
諸収入			
雑入			
弁償金	健康福祉費弁償金	0	222,420
雑入	健康福祉費雑入	7,630,000	1,575,468

表4 歳出

単位:円

款項目	節	予算額	決算額
健康福祉費			
保健衛生施設費			
健康安全究所費		695,934,000	559,393,090
	報酬	4,238,000	2,111,324
	給料	878,000	867,600
	職員手当等	162,000	138,600
	共済費	0	0
	報償費	327,000	140,000
	旅費	939,000	850,542
	需用費	155,288,000	67,480,046
	消耗品費	151,242,000	65,026,256
	燃料費	16,000	12,135
	印刷製本費	969,000	949,135
	光熱水費(ガス料)	35,000	29,520
	修繕費	3,026,000	1,463,000
	役務費	1,291,000	921,782
	電信電話料	122,000	122,474
	通信回線料	28,000	27,490
	郵便料	290,000	282,538
	運搬料	5,000	0
	手数料	846,000	489,280
	委託料	51,873,000	47,538,095
	使用料及び賃借料	213,594,000	204,269,495
	備品購入費	205,589,000	190,086,259
	負担金補助及び交付金	61,755,000	44,989,347

## 5 学会参加並びに視察対応等の実績

### (1) 学会・研究会等出席実績

年月日	名称	場所
R5.4.14～16	第126回日本小児科学会学術集会	グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 及びグランドプリンスホテル高輪
R5.4.22～23	第31回日本医学会総会	東京国際フォーラム
R5.4.28～30	第97回日本感染症学会総会・学術講演会・ 第71回日本化学療法学会学術集会合同学会	パシフィコ横浜ノース、オンライン
R5.5.18	第12回小児呼吸器ウイルス感染症研究会	オンライン
R5.6.5	日本食品衛生学会 令和5年度総会・公開シンポジウム	中央区立日本橋公会堂
R5.6.8～9	日本食品化学学会 第29回総会・学術大会	富山国際会議場
R5.6.10～6.11	第97回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会・学術講演会	京王プラザホテル
R5.6.16～18	第70回日本小児保健協会学術集会	川崎市コンベンションホール
R5.6.30、7.24、 8.30、9.29、11.7、 11.28、12.12、 12.22、R6.1.23、 1.26、3.6	バイオアナリシスフォーラム(JBF) DG2023	オンライン、川崎生命科学・環境研究センター
R5.7.5	オフフレーバー研究会第13回勉強会	東京家政大学
R5.7.5～6	衛生微生物技術協議会第43回研究会	じゅうろくプラザ
R5.7.20～22	第38回日本環境感染学会総会・学術集会	パシフィコ横浜ノース
R5.8.28～30	日本防菌防霉学会 第49回年次大会	千里ニュータウン
R5.9.2	第5回SFTS研究会学術集会	宮崎大学(オンライン参加)
R5.9.5	地域保健総合推進事業 理化学関東甲信静ブロック会議	オンライン
R5.9.9～10	第32回日本外来小児科学会年次集会	パシフィコ横浜
R5.9.21～22	第44回日本食品微生物学会学術総会	大阪公立大学中百舌鳥キャンパス
R5.9.25～11.10	全国疫学情報ネットワーク構築会議	オンライン
R5.9.27	第70回日本ウイルス学会学術集会	仙台国際センター
R5.9.28～29	令和5年度第37回関東甲信静支部ウイルス研究部会	東京都健康安全研究センター
R5.10.12～13	日本食品衛生学会第119回学術講演会	タワーホール船堀
R5.10.21～22	第27回日本ワクチン学会・ 第64回日本臨床ウイルス学会合同学術集会	ホテルアソシア静岡
R5.10.25～27	第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会・ 第70回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会	東京ドームホテル
R5.10.31～11.2	第82回日本公衆衛生学会総会	つくば国際会議場

R5.11.3	第69回日本新生児成育医学会・学術集会	パシフィコ横浜
R5.11.4～6	Master Class in Vaccinology (ワクチン学マスタークラス)2023	台北(台湾)
R5.11.9～10	第60回全国衛生化学技術協議会年会	ホテル福島グリーンパレス コラッセふくしま
R5.11.12	日本食品化学学会 第39回食品化学シンポジウム	Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
R5.11.14～17	世界小児感染症学会(The World Society for Pediatric Infectious Diseases:WSPID)2023	ダーバン(南アフリカ)
R5.11.18	第91回神奈川県感染症医学会	神奈川県立かながわ労働プラザ
R5.11.20	第69回神奈川県公衆衛生学会	オンライン
R5.11.22	令和5年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部 第13回公衆衛生情報研究部会総会・研究会	千葉市役所
R5.11.24	令和5年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部 自然毒部会研究発表会	オンライン
R5.11.25～26	第55回日本小児感染症学会総会・学術集会	名古屋国際会議場
R5.12.2～3	日本性感染症学会第36回学術大会	学術総合センター
R6.1.25～26	第37回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会	国立保健医療科学院
R6.2.5～7	第15回JBFシンポジウム	京都市勧業館みやこめっせ
R6.2.8～9	第35回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部 細菌研究部会総会・研究会	高崎市総合保健センター
R6.2.9	令和5年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部 第34回理化学研究部会総会・研究会	アクトシティ浜松コンgresセンター
R6.2.9～11	第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会	パシフィコ横浜 ノース
R6.2.16	食品衛生学会特別シンポジウム	日本橋社会教育会館
R6.2.18	第23回食物アレルギー研究会	オンライン
R6.2.18	第15回予防接種に関する研究報告会	リロの会議室コンフォート新宿
R6.3.6～3.8	第58回日本水環境学会年会	九州大学伊都キャンパス
R6.3.22	第27回下水道疫学研究会	オンライン

## (2) 講習会・研修会等受講実績

年月日	名称	場所
R5.4.20	関東化学Webセミナー 「薬品の取扱いについて - 毒物及び劇物取締法編 -」	オンライン
R5.4.20	サーモフィッシャーサイエンティフィック 環境分析Webセミナー	オンライン
R5.4.24	地衛研Webセミナー	オンライン
R5.4.24～27	AOACセミナー「ISO/IEC 17025の基礎と活用」	オンデマンド配信視聴
R5.4.25	林純薬工業株式会社 試薬のもっと上手な使い方～その① 秤量のポイントとテクニック 水道水質・環境分析セミナー	オンライン
R5.4.26	林純薬工業株式会社 試薬のもっと上手な使い方～その②	オンライン
R5.4.26	アジレントテクノロジー環境分析セミナー	オンライン
R5.5.17	島津水道水質分析セミナー	Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
R5.5.23～24	バイオセーフティ研修	千葉
R5.5.30	Web研修17-18生命・医学系指針の改正概要について	オンライン
R5.6.7	新感染症サーベイランスシステム説明会	オンライン
R5.6.15	令和5年度病原体等の包装・運搬講習会	国立感染症研究所戸山庁舎
R5.6.15	関東化学Webセミナー 「標準物質「食物アレルギー抽出物」を用いた検査法のご提案」	オンライン
R5.6.16	認定産業医研修会	神奈川産業保健総合支援センター
R5.6.19	令和5年度防護服等研修	川崎市健康安全研究所
R5.6.22～23	蚊類調査研修	国立感染症研究所戸山庁舎
R5.6.23	理化学試験の基礎実技研修	(公社)日本食品衛生協会 食品衛生研究所 試験検査センター
R5.6.30	令和5年度食品衛生検査施設 信頼性確保部門責任者等研修会	三田共用会議所
R5.7.3	認定産業医研修会	神奈川産業保健総合支援センター
R5.7.14	エッペンドルフ ピペット講習	エッペンドルフ株式会社東京本社
R5.7.19	LCメンテナンス講習会	Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
R5.7.25	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	オンライン、修了試験(Lプラザ)
R5.7.28	一般財団法人食品薬品安全センター FDSC食品衛生精度管理セミナー	大田区産業プラザPiO
R5.8.22	川崎市健康安全研究所職員研修会(倫理研修会)	川崎生命科学・環境研究センター
R5.8.30	AJACSオンライン17「質量分析データを解析に活用する」	オンライン
R5.9.5	JBCO技能試験2022理化学試験フォローアップセミナー	オンライン

R5.9.9	感染対策向上加算に係る新興・再興感染症発生等想定訓練	市立多摩病院
R5.9.13	第30回日本免疫毒性学会学術年会・公開シンポジウム	川崎生命科学・環境研究センター
R5.9.14	令和5年度ガラス器具取扱い講習会	川崎生命科学・環境研究センター
R5.9.15	キングスカイフロントネットワーク協議会 「新たな化学物質規制について」	川崎生命科学・環境研究センター
R5.9.26～28	令和5年度薬剤耐性菌の検査に関する研修	国立感染症研究所村山庁舎
R5.9.28	令和5年度薬剤耐性菌の検査に関する研修 (アップデートコース)	オンライン
R5.9.29	感染症危機管理研修会	オンライン
R5.9.30	感染対策向上加算に係る新興・再興感染症発生等想定訓練	中原区役所
R5.10.12～18	令和5年度国立保健医療科学院新興再興感染症技術研修	国立感染症研究所村山庁舎
R5.10.17	令和5年度「地域保健総合推進事業」 関東甲信静ブロック地域専門家会議講演 「関東のマダニ分布の更新： 動物から動物へリレーされるマダニの拡散」	オンライン
R5.10.27	第31回腸内フローラシンポジウム(腸内フローラと感染症制御)	ニューピアホール
R5.10.30～11.17	令和5年度国立保健医療科学院ウイルス研修	国立感染症研究所村山庁舎
R5.11.15	消費者庁他 食品に関するリスクコミュニケーション (食品中の放射性物質と復興の歩み)	オンライン
R5.12.1	日本食品衛生協会 食品中の残留農薬等に関するリスクコミュニケーション	新橋カンファレンスセンター
R5.12.4	MALDI-TOF MS(質量分析)を用いた酵母・糸状菌の 迅速同定の技術研修	理化学研究所バイオリソース研究センター 微生物材料開発室
R5.12.9	第27回SRL感染症フォーラム	JPタワーホール
R5.12.9～10	日本食品微生物学会技術セミナー(東日本)	麻布大学
R5.12.12	令和5年度神奈川県食品衛生監視員研修 (食品監視コース・後期)	横浜検疫所
R5.12.14	認定産業医研修会	神奈川産業保健総合支援センター
R5.12.20	結核菌ゲノム解析研修会	川崎市健康安全研究所
R6.1.11	関東甲信静ブロック地域専門家会議	オンライン
R6.1.12	内閣感染症危機管理統括庁主催シンポジウム	東京国際フォーラム
R6.1.12	食品安全と食品防御に関する研修会	川崎市役所本庁舎及びオンライン
R6.1.17～18	動物由来感染症リファレンスセンター研修会	国立感染症研究所村山庁舎
R6.1.18	令和5年度第3回感染症危機管理研修会	オンライン
R6.1.18～19	令和5年度公衆衛生実務者研修 「遺伝子検査法について～PCRから塩基配列解析まで～」	神奈川県衛生研究所
R6.1.23	令和5年度地方衛生研究所全国協議会 理化学部会理化学分野研修会	オンライン

R6.1.25	神奈川県衛生研究所 衛生検査基礎技術研修(化学検査の基礎)	オンライン
R6.1.30	令和5年度高津区役所地域みまもり支援センター職員研修会	高津区役所
R6.2.7	令和5年度水道水質検査精度管理に関する研修会	オンライン
R6.2.8	厚生労働省実験動物管理者等研修会	オンライン
R6.2.13	令和5年度健康危機管理基礎研修	本庁舎
R6.2.14～15	令和5年度 希少感染症診断技術研修会	オンライン
R6.2.16	FETPアラムナイリフレッシュメント研修	オンライン
R6.2.23	認定産業医研修会	神奈川県産業保健総合支援センター
R6.3.4	認定産業医研修会	神奈川県産業保健総合支援センター
R6.3.4～6	神奈川県衛生研究所主催 「残留動物用医薬品検査について」	神奈川県衛生研究所
R6.3.8	神奈川県公衆衛生専門技術研修	神奈川県衛生研究所
R6.3.12	食品内で発見される昆虫等に関する検査技術研修会	オンライン
R6.3.12	神奈川県衛生研究所主催 「食品検査における業務管理(GLP)について」	神奈川県衛生研究所
R6.3.12～14	神奈川県衛生研究所主催 「食品中の指定・指定外着色料検査について」	神奈川県衛生研究所
R6.3.13	病原体検査訓練	川崎市健康安全研究所
R6.3.14	神奈川県水道水質検査機関技術研修会	波止場会館(横浜市)

## (3) 会議等出席実績

年月日	名称	場所
R5.4.4	新型インフルエンザ等対策推進会議	書面開催
R5.4.4	日本学会議 第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会 (第25期・第23回)	オンライン
R5.4.5	第120回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン
R5.4.10	麻しん・風しん排除認定会議	オンライン
R5.4.11	KAWASAKI地域感染制御協議会	ソリッドスクエア
R5.4.19	第121回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	厚生労働省
R5.4.21	厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防 接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨 床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」令和5年度 キックオフミーティング	オンライン
R5.4.21	第72回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン
R5.4.28	第54回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎
R5.4.28	第93回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部 会、令和5年度第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等 安全対策部会安全対策調査会(合同開催)	オンライン
R5.5.8	慶應・東邦プログラム管理委員会	オンライン
R5.5.8	令和5年度第1回神奈川県外部精度管理調査委員会	メール会議
R5.5.10	令和5年度第1回茨城県感染症対策連携協議会	茨城県庁
R5.5.17	公益財団法人予防接種リサーチセンター理事会	オンライン
R5.5.17	令和5年度第1回川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会	ソリッドスクエア
R5.5.19	神奈川県公衆衛生協会令和5年度第1回企画・学術部会	オンライン
R5.5.24	令和5年度第1回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	ソリッドスクエア
R5.5.25	令和5年度第1回東京都感染症予防検討委員会	東京都医師会館
R5.5.26	板橋区予防接種健康被害調査委員会	板橋区保健所
R5.5.26	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究 事業)「食中毒原因細菌の検査法の整備のための研究」(工藤班)班 会議	国立医薬品食品衛生研究所
R5.6.1	第6回麻しん・風しん排除認定会議	オンライン
R5.6.1	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策 総合研究事業)「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」(前川 班)班会議	オンライン
R5.6.2	令和5年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	オンライン
R5.6.6	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究 事業)「ウエルシュ菌食中毒の制御のための検査法の開発及び汚染 実態把握のための研究」(大西班)分担研究班会議	国立医薬品食品衛生研究所

R5.6.7	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「国内流通食品に検出されるカビ毒に対する安全性確保の方策の確立に資する研究」班会議	国立医薬品食品衛生研究所
R5.6.9	日韓グローバルヘルス政策対話	衆議院第一議員会館
R5.6.13	第73回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	埼玉県庁
R5.6.20～23	第32回WHO/WPRO/TAG-VPD(WHO西太平洋地域/ワクチンで予防可能な疾患に関する技術専門家会議	マニラ(フィリピン)
R5.6.26	港区感染症対策協議会	港区みなと保健所
R5.6.28	RSウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因子の解明に関する開発研究 キックオフミーティング	オンライン
R5.7.4	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「新型コロナウイルス感染症対策に取り組む食品事業者における食品防御の推進のための研究」(今村班)班会議	オンライン
R5.7.5	衛生微生物技術協議会総会	じゅうろくプラザ(岐阜県)
R5.7.5	衛生微生物技術協議会合同会議 (理事会、検査情報委員会、レファレンス委員会)	じゅうろくプラザ(岐阜県)
R5.7.7	令和5年度第77回地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部総会	オンライン
R5.7.7	第123回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン
R5.7.14	令和5年度第1回川崎市予防接種運営委員会	川崎市医師会館
R5.7.19	令和5年度公衆衛生情報研究協議会第1回理事会	オンライン
R5.7.20	日本環境感染学会COVID-19対策委員会	パシフィコ横浜ノース
R5.7.24	神奈川県公衆衛生協会令和5年度第2回企画・学術部会	オンライン
R5.7.26	AMED(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランス及びワクチン効果の評価に関する研究」(鈴木班)2023年度班会議	オンライン
R5.7.27	東京都感染症予防検討委員会	オンライン
R5.7.27	令和5年度第2回神奈川県感染症対策協議会	オンライン
R5.7.28	第94回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和5年度第5回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(合同開催)	オンライン
R5.7.28	日中笹川医学奨学金制度35周年記念行事	北京
R5.7.31	令和5年度第1回研究・調査企画会議事後評価部会	食品安全委員会
R5.8.1	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究」班会議	東京都健康安全研究センター
R5.8.2	AMED(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究」(菅井班)班会議	オンライン
R5.8.3	令和5年度第2回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	ソリッドスクエア

R5.8.4	第124回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン
R5.8.4	令和5年度第2回研究・調査企画会議事後評価部会	食品安全委員会
R5.8.5	日本公衆衛生協会令和5年度地域保健総合推進事業「自治体における感染症対策の計画的な体制整備に関する調査研究」(角野班) 班会議	滋賀県庁
R5.8.9	令和5年度第2回茨城県感染症対策連携協議会	オンライン
R5.8.9	令和5年度第1回川崎市感染症対策協議会	川崎市医師会館
R5.8.19	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」(加藤班) 班会議	オンライン
R5.8.22	大阪大学感染症総合教育研究拠点第2回アドバイザーボード委員会・外部評価委員会	大阪大学
R5.8.24	町田市予防接種健康被害調査委員会	町田市役所
R5.8.25	令和5年度第1回川崎市健康福祉研究発表会運営委員会	市立看護大学
R5.9.7～8	令和5年度指定都市衛生研究所長会議	北九州市総合保健福祉センター
R5.9.8	KAWASAKI地域感染制御協議会	市立多摩病院
R5.9.12	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「感染症の病原体を保有していないことの確認方法の確立及び志賀毒素産生性大腸菌による溶血性尿毒症症候群に関するガイドライン整備のための研究」(伊藤班) 班会議	オンライン
R5.9.12	麻疹風疹レファレンスセンター担当学会議	オンライン
R5.9.13	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「医療デジタルトランスフォーメーション時代の重層的な感染症サーベイランス体制の整備に向けた研究」(砂川班) 播磨グループ研究班会議	オンライン
R5.9.13	三重県企画調整選定委員会	オンライン
R5.9.13	第74回埼玉県新型感染症専門家会議	埼玉県庁
R5.9.20～22	第16回東南アジア・ポリオ根絶地域認証委員会(South-East Asia Regional Certification Commission for Polio Eradication :SEA-RCCPE) 会議	オンライン
R5.9.25	令和5年度第2回川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会	オンライン
R5.9.28	東京都感染症予防検討委員会	東京都医師会館
R5.9.29	令和5年度第3回研究・調査企画会議事後評価部会	食品安全委員会
R5.10.2	令和5年度首都圏地方感染症情報センター連絡会(第1回)	オンライン
R5.10.2	令和5年度第1回川崎市感染症発生動向調査委員会	川崎市役所本庁舎及びオンライン
R5.10.4	令和5年度第3回神奈川県感染症対策協議会	オンライン
R5.10.12	令和5年度第1回日本ポリオ根絶会議	厚生労働省
R5.10.17	千葉大学真菌医学研究センター運営協議会	オンライン

R5.10.17	令和5年度第2回川崎市地域感染症対策ネットワーク委員会	オンライン
R5.10.18	令和5年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会会長会	藤沢市保健所
R5.10.18	令和5年度 食品・添加物規格基準に関する試験検査等 食品中の食品添加物分析法の検討 班会議	オンライン
R5.10.19	令和5年度第3回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	ソリッドスクエア
R5.10.24	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」(加藤班)班会議	オンライン
R5.10.25	川崎港保健衛生協議会担当者会議	かわさきファズ物流センター管理棟
R5.10.30	令和5年度第74回地方衛生研究所全国協議会総会	つくば国際会議場
R5.10.31	町田市予防接種健康被害調査委員会	書面開催
R5.10.31	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食中毒原因細菌の検査法の整備のための研究」(工藤班)班会議	国立医薬品食品衛生研究所
R5.11.7～8	Global Health and Welfare Forum in Taiwan(台湾におけるグローバル保健福祉フォーラム)2023	台北(台湾)
R5.11.16	令和5年度第6回神奈川県感染症対策協議会	オンライン
R5.11.17	令和5年度第1回県・市感染症情報センター連絡調整会議	神奈川県衛生研究所
R5.11.17	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」(前川班)班会議	オンライン
R5.11.18	神奈川県感染症医学会理事会	神奈川県立かながわ労働プラザ
R5.11.22	令和5年度第3回茨城県感染症対策連携協議会	オンライン
R5.11.22～23	第24回ポリオ根絶認証世界委員会(GCC:Global Certification Commission 国際認証委員会)	ジュネーヴ(スイス)
R5.11.28～30	第29回西太平洋ポリオ根絶地域委員会	マニラ(フィリピン)
R5.12.13	社会医学系専門医協会試験分科会Web会議	オンライン
R5.12.20	学校法人日本大学評議員会	オンライン
R5.12.21	AMED(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「麻疹・風疹排除に資する持続可能なサーベイランスに関する研究」(森班)班会議	オンライン
R5.12.21	町田市予防接種健康被害調査委員会	町田市役所
R5.12.27	令和5年度第4回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	ソリッドスクエア
R6.1.12	第9回連携・協力に関する協議会	国立医薬品食品衛生研究所
R6.1.15	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「感染症の病原体を保有していないことの確認方法の確立及び志賀毒素産生性大腸菌による溶血性尿毒症症候群に関するガイドライン整備のための研究」(伊藤班)班会議	オンライン

R6.1.17	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究」班会議	国立医薬品食品衛生研究所
R6.1.17	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「感染症予防計画のフォローアップ及び感染症指定医療機関の施設基準の見直しの検討に資する研究」(岡部班)班会議	オンライン
R6.1.20	日本公衆衛生協会令和5年度地域保健総合推進事業「自治体における感染症対策の計画的な体制整備に関する調査研究」(角野班)班会議	オンライン
R6.1.23	CHANGE全体会議	島津製作所(Shimadzu Tokyo Innovation Plaza)
R6.1.23	社会医学系専門医協会試験分科会Web会議	オンライン
R6.1.25	文部科学省科学研究費助成事業「コロナ禍への対応の実証分析を踏まえた保健所の組織・運営のあり方に関する研究」(幸田班)班会議	オンライン
R6.1.25	令和5年度公衆衛生情報研究協議会第2回理事会	国立保健医療科学院
R6.1.26	第100回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和5年度第15回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(合同開催)	オンライン
R6.1.30	令和5年度県内衛生研究所等における平常時連携に係る検討委員会	オンライン
R6.2.1	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」(加藤班)班会議	オンライン
R6.2.1	港区感染症対策協議会	みなと保健所
R6.2.2	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「新型コロナ対策における抗原定性検査キットの活用実態とその影響についての研究」(岡部班)班会議	厚生労働省
R6.2.4	AMED(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「既存ワクチンの有用性検証および今後の予防接種施策の向上に資する基礎的・臨床的・疫学的研究」(菅班)班会議	オンライン
R6.2.5	令和5年度第7回神奈川県感染症対策協議会	オンライン
R6.2.6	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」(加藤班)班会議	オンライン
R6.2.6	令和5年度 第2回神奈川県外部精度管理調査委員会	メール会議
R6.2.7	令和5年度第2回川崎市予防接種運営委員会	川崎市医師会館
R6.2.7	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「新型コロナウイルス感染症対策に取組む食品事業者における食品防御の推進のための研究」(今村班)班会議	オンライン
R6.2.13	千葉大学真菌医学研究センター運営協議会	オンライン
R6.2.13	令和5年度動物由来感染症対策検討会	神奈川県動物愛護センター

R6.2.13	令和5年度第5回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	ソリッドスクエア
R6.2.14	大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER)外部評価委員会	オンライン
R6.2.14～15	希少感染症診断技術研修会	オンライン
R6.2.16	令和5年度神奈川県感染症発生动向調査解析委員会	オンライン
R6.2.20	令和5年度第3回川崎市地域感染症対策ネットワーク委員会	川崎市役所
R6.2.21	文部科学省科学研究費助成事業「コロナ禍への対応の実証分析を踏まえた保健所の組織・運営のあり方に関する研究」(幸田班)班会議	オンライン
R6.2.26	令和5年度健康危機管理基礎研修会終了後検討会	本庁舎
R6.3.1	令和5年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会微生物情報部会	ウェルネスさがみはら
R6.3.1	令和5年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会理化学情報部会	横浜市衛生研究所
R6.3.5	川崎港保健衛生協議会総会	かわさきファズ物流センター管理棟
R6.3.6	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「ウエルシュ菌食中毒の制御のための検査法の開発及び汚染実態把握のための研究」(大西班)分担研究班会議	国立医薬品食品衛生研究所
R6.3.6	公益財団法人予防接種リサーチセンター理事会	予防接種リサーチセンター
R6.3.6	令和5年度第4回茨城県感染症対策連携協議会	オンライン
R6.3.7	令和5年度結核対策推進会議	オンライン
R6.3.8	神奈川県公衆衛生学会企画・学術部会	オンライン
R6.3.12	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床対応及び行政との連携体制の構築のための研究」(加藤班)班会議	オンライン
R6.3.12	神奈川県感染症医学会理事会	神奈川県立かながわ労働プラザ
R6.3.12	AMED(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)「薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究」(菅井班)班会議	オンライン
R6.3.14	令和5年度新型インフルエンザ等対策の連携及び協力に関する医療関係5団体連携会議	川崎市役所本庁舎
R6.3.14	令和5年度第2回川崎市感染症対策協議会	川崎市役所本庁舎
R6.3.15	令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「感染症予防計画のフォローアップ及び感染症指定医療機関の施設基準の見直しの検討に資する研究」(岡部班)班会議	三菱総合研究所
R6.3.18	済生会横浜市東部病院カンファレンス	川崎市健康安全研究所
R6.3.21	学校法人日本大学評議員会	日本大学会館
R6.3.21	令和5年度第2回川崎市感染症発生动向調査委員会	川崎市役所本庁舎及びオンライン
R6.3.21	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食中毒原因細菌の検査法の整備のための研究」(工藤班)班会議	国立医薬品食品衛生研究所

R6.3.22	東京都感染症予防検討委員会	東京都医師会
R6.3.22	令和5年度厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「感染症の病原体を保有していないことの確認方法の確立及び志賀毒素産生性大腸菌による溶血性尿毒症症候群に関するガイドライン整備のための研究」(伊藤班) 班会議	オンライン
R6.3.25	AMED(創薬基盤推進研究事業)「新規なバイオ製造法を伴うワクチン等の高度な生産技術に関わる人材育成に資する教育プログラムの作成」班会議	オンライン
R6.3.25	新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(ADB) 大臣懇談会	厚生労働大臣室

## (4) 講師派遣実績

年月日	名称	会場
R5.4.13	第25期実地疫学専門家養成コース初期導入研修	国立感染症研究所飯田橋事務所
R5.4.14	効率的かつ効果的な感染対策等に関する研修会	栃木県庁
R5.5.8～9	月例医学研究会	市立函館病院
R5.5.10	病院における院内感染対策実践セミナー	山ログランドホテル
R5.5.11	新型コロナ対応における行政の取組みセミナー	山口県庁
R5.5.18	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会 保育協議会研修会	エポック中原
R5.5.22	第25期実地疫学専門家養成コース初期導入研修	国立感染症研究所飯田橋事務所
R5.5.22	感染症学講義	名古屋大学医学部
R5.6.5	感染症学講義	北里大学白金キャンパス
R5.7.4	ふれあい子育てサポート事業ヘルパー研修	第4庁舎
R5.7.20	前橋市医師会卒後研修会	オンライン
R5.7.21	麻生区相談支援・ケアマネジメント調整会議・研修	麻生区役所
R5.7.25	感染症学講義	県立保健福祉大学実践研究センター
R5.9.9	感染対策向上加算に係る新興・再興感染症発生等想定訓練	市立多摩病院
R5.9.15	令和5年度感染症集団発生対策研修	国立保健医療科学院
R5.9.30	感染対策向上加算に係る新興・再興感染症発生等想定訓練	中原区役所
R5.10.16	岡山市感染症危機対応訓練プレ訓練	岡山市立市民病院及び 岡山市地域ケア総合推進センター
R5.10.17	岡山市感染症危機対応訓練プレ訓練	岡山市保健福祉会館
R5.10.21	第27回日本ワクチン学会・ 第64回日本臨床ウイルス学会合同学術集会	ホテルアソシア静岡
R5.10.25	第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会・ 第70回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会 ICD講習会「withコロナ時代の発熱患者診療」	東京ドームホテル
R5.10.26	第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会・ 第70回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会 シンポジウム「新興感染症発生等を想定した訓練の実際」	東京ドームホテル
R5.10.26	令和5年度第2学年ブロック講義(地域医療)	聖マリアンナ医科大学
R5.10.29	2023年度(令和5年度)全国政令市衛生部局長会総会・講演	つくば国際会議場
R5.10.30	つくばブロック保育協議会Web講演会	オンライン
R5.11.2	2023年感染症事例のリスクアセスメント研修会	つくば国際会議場
R5.11.8	昭和薬科大学講義	オンライン

R5.11.15	感染対策向上加算に係る新興・再興感染症発生等想定訓練 ブレ訓練	平塚市民病院
R5.11.22	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部 第13回公衆衛生情報研究部会研究会	千葉市役所
R5.11.27	岡山市感染症危機対応訓練	岡山市立市民病院
R5.11.30	令和5年度動物取扱責任者研修	多摩市民館
R5.12.2	第37回鹿児島感染制御ネットワーク学術講演会	鹿児島県医師会館
R5.12.8	市立多摩病院職員研修会	市立多摩病院
R5.12.16	感染対策向上加算に係る新興・再興感染症発生等想定訓練 本訓練	平塚市民病院
R5.12.19	令和5年度動物取扱責任者研修	第4庁舎
R5.12.21	令和5年度川崎港検疫感染症措置訓練	かわさきファズ物流センター
R6.1.18	令和5年度第3回感染症危機管理研修会	オンライン
R6.1.22	令和5年度「地域保健総合推進事業」地方感染症情報センター 担当者会議	オンライン
R6.1.25	第37回公衆衛生情報研究協議会研究会	国立保健医療科学院
R6.2.4	HPVワクチン接種に係る医療機関向け研修会	オンライン
R6.2.5	次世代育成を考え合う研修会	本庁舎
R6.2.8	第59回川崎市学校保健大会	中原市民館
R6.2.13	令和5年度健康危機管理基礎研修	本庁舎
R6.2.24	2023年度一類感染症セミナー	オンライン
R6.2.29	第318回川崎市小児科医会研究研修会・ 神奈川小児医会共催セミナー	川崎市医師会館
R6.3.16	日本環境感染学会地域セミナー(関東ブロック)	市立多摩病院

## (5) 研修指導実績

年月日	内容	対象	人数
R5.4.19	第1回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	2名
R5.5.17	第2回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	3名
R5.5.26	大腸菌等の検査法に係る研修	川崎市中央卸売市場食品衛生検査所職員	2名
R5.6.1～7.31	川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)の 情報セキュリティに関するeラーニング研修	感染症対策業務に従事する職員	108名
R5.6.28	第3回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	2名
R5.6.29	令和5年度第1回疫学ミーティング	高津区役所地域みまもり支援センター等の感染症 対策に係る職員	37名
R5.7.10	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	10名
R5.7.18	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	9名
R5.7.24	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	20名
R5.7.26	第4回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	2名
R5.7.31	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	18名
R5.8.4	慶應義塾大学大学院マネジメント研究科 公衆衛生プログラム	慶應義塾大学大学院生等	18名
R5.8.16	第5回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	3名
R5.8.21	社会医学系専攻医研修(慶應東邦プログラム)	慶應義塾大学医学部生	1名
R5.9.27	第6回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	2名
R5.10.18	第7回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	2名
R5.11.8	第1回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	4名
R5.11.15	第2回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	4名
R5.11.29	第3回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	4名
R5.11.29	第8回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	4名
R5.12.6	第4回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	4名
R5.12.13	第5回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	4名
R5.12.20	第6回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	1名
R5.12.20	結核ゲノム解析研修会	川崎市各区役所地域みまもり支援センター等の感 染症対策に係る職員, 地方衛生研究所関東甲信 静細菌支部関係職員	67名

R5.12.27	第7回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	4名
R5.12.27	第9回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	2名
R6.1.11	第8回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	3名
R6.1.12	食品安全と食品防御に関する研修会 (川崎市健康福祉局保健医療政策部食品安全担当 と共催)	市内の公衆衛生関係職員	34名
R6.1.17	第10回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	3名
R6.1.19	令和5年度第2回疫学ミーティング	川崎区役所地域みまもり支援センター等の感染症 対策に係る職員	25名
R6.2.22	感染症情報センター職員研修会	川崎市各区役所地域みまもり支援センター等の感 染症対策に係る職員	52名
R6.2.28	第11回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	4名
R6.3.21	第12回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修修了者	3名

## (6) 視察・見学受け入れ実績

年月日	名称	人数
R5.5.26	市立井田病院臨床研修医	2名
R5.6.6	名古屋市保健所職員	4名
R5.7.27	川崎市健康福祉局長	3名
R5.8.3	夏の科学イベント	37名
R5.8.4	慶應義塾大学大学院マネジメント研究科公衆衛生プログラム	18名
R5.8.14、16、23	川崎市インターンシップ	1名
R5.8.21	社会医学系専攻医(慶應東邦プログラム)	1名
R5.8.25	多摩区・3大学連携協議会インターンシップ	3名
R5.9.4	市立川崎病院臨床研修医	1名
R5.9.5	立命館大学生	11名
R5.9.13、25	川崎市職場体験研修	2名
R5.10.10	キングスカイフロントネットワーク協議会 市制100周年記念プレ事業 ～中学生を対象にしたキングスカイフロント施設見学会～	14名
R5.10.24	宮前区役所職員研修「キングスカイフロント視察」	15名
R5.11.20	市立井田病院臨床研修医	3名
R5.12.4	東海大学医学部	9名
R5.12.5	CFMD家庭医療学レジデンシー・東京 専攻医	1名
R5.12.13	国立感染症研究所FETPインターンシップ	11名
R5.12.14	東京慈恵会医科大学医学部生	1名
R6.2.1	専門職種 1day現場見学会	3名
R6.2.29	川崎市薬剤師会見学実習(薬学部5年生)	41名
R6.3.5	市立川崎病院臨床研修医	16名
R6.3.8	市立川崎高校附属中学校キングスカイフロント見学会	44名
R6.3.19	宮前地区連合町内会	39名
R6.3.26	滋賀県健康医療福祉部健康危機管理課職員	3名
計	24件	283名

## (7) 研修報告会開催実績

当研究所職員が出席した学会や研修会等の内容を所内で情報共有するとともに、プレゼンテーション能力の向上を目的として、研修報告会を原則月1回開催している。

### 令和5年度研修報告会開催実績

開催日	報告内容
R5.5.16	第34回臨床微生物学会報告 下水サーベイランスについて
R5.6.8	第97回日本感染症学会総会・学術講演会報告
R5.7.19	第32回WHO/WPRO/TAG-VPD(WHO西太平洋地域/ワクチンで予防可能な疾患に関する技術専門家会議)参加報告
R5.9.11	日本食品化学学会 第29回総会・学術大会報告 バイオセーフティ技術講習会報告 第38回日本環境感染症学会報告
R5.11.9	第44回日本食品微生物学会報告
R5.12.11	第82回日本公衆衛生学会報告 第60回全国衛生化学技術協議会年会報告 第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会/第70回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会報告
R6.2.2	日本性感染症学会第36回学術大会報告 第55回日本小児感染症学会報告
R6.3.7	令和5年度動物由来感染症レファレンスセンター研修会(野兔病の検査研修)報告 第15回JBFシンポジウム報告 第35回臨床微生物学会報告 国立保健医療科学院ウイルス研修の内容紹介 令和6年能登半島地震に伴う派遣業務報告

## (8) 「キングスカイフロント夏の科学イベント 2023」への出展

多摩川を挟んで羽田空港の対岸に位置する殿町国際戦略拠点キングスカイフロントは、様々な研究機関が集積し、ライフサイエンスや環境分野の研究開発などが行われている。

キングスカイフロントでは、川崎市臨海部国際戦略本部が中心となり、子どもたちに科学技術に関心を持ってもらうことを目的とした「夏の科学イベント」を例年 8 月に開催しており、当研究所もブースを出展している。

主に小学生を対象に開催されるこのイベントは、キングスカイフロントに進出又は関係する企業・研究機関等がそれぞれの特色を活かしながら夏休みの学習に役立つ科学実験やクイズラリーなどの体験コーナーを出展するもので、「キングスカイフロント夏の科学イベント 2023」には 502 人の親子連れが参加した。

### ア 開催日時

令和 5 年 8 月 3 日(火) 13:00～16:00

### イ 主催（事務局）

キングスカイフロント夏の科学イベント実行委員会(川崎市臨海部国際戦略本部)

### ウ 会場

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)、ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)、実験動物中央研究所(実中研)、ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京(J&J)、ライフイノベーションセンター(LIC)、メトロニックイノベーションセンター(メトロ)、リサーチゲートビルディング トノマチ 2(RGB2)、SB カワズミ、島津製作所、東急 REI ホテル、国立医薬品食品衛生研究所

### エ 出展機関

川崎市健康安全研究所、川崎市環境総合研究所、公益財団法人実験動物中央研究所、国立医薬品食品衛生研究所ほか、キングスカイフロントに集積する民間研究機関等

## オ 健康安全研究所の出展内容

### 見習い検査員になってみよう！

「見習い検査員として研究所で検査をしてみよう！」をテーマに、普段入ることのできない健康安全研究所の研究エリア内で、細菌性食中毒、自然毒及び着色料についての検査を実際に体験し、楽しみながら食の安全に関する知識を学んでもらった。

(参加人数:37 人(保護者含む))

写真1 抽出・ろ過を体験する様子



写真2 食品から抽出した着色料で毛糸染色を行う様子



写真3 培地作り体験の様子

